

い　ま 現 在 を 読 む

2026（令和8）年2月 No.368

自己との対話　社会学者、じぶんのAIと戦う

吉見 俊哉／著　集英社

社会学の大家が、自らの著作・論文をすべてAIに学習させ「AI吉見くん」を制作。「彼」と「社会学」「大学」「日本の都市」「世界情勢」をめぐり対話した試みを通して、AI時代に人間が身につけるべき知性を明らかにする。

蛾のおっさんが聞く学校図書館のもやもや35

山本 みづほ／ほか著　郵研社

学校図書館の充実を願い全国を飛び回る「蛾のおっさん」が、児童生徒・教職員・教育委員会との付き合い方、管理職・事務室・書店との連携といった学校図書の「もやもや」の傾向と対策について考える。

新書世界現代史　なぜ「力こそ正義」はよみがえったのか

川北 省吾／著　講談社

ロシアによるウクライナ侵攻、権威主義的国家の台頭…。なぜ世界はここまで急に揺らぎはじめたのか？　共同通信社を代表する国際ジャーナリストが、混迷する国際政治の謎を解き明かす。共同通信社配信を書籍化。

日本人の幸せ　ウェルビーイングの国際比較

内田 由紀子／著　中央公論新社

文化によって異なる「幸せの基準」。国際比較を通して日本社会における幸せの特徴を探るとともに、地域コミュニティ、職場、学校などの現場における持続的な幸福（ウェルビーイング）についても考察する。

仕事に「生きがい」はいりません　30年の調査データが明かすZ世代のリアル

金間 大介・酒井 崇匡／著　SBクリエイティブ

職場に活気は求めていない、人前でほめられたくない、恋愛よりも推し活…。上司や先輩世代が「なぜ？」と首をひねりたくなる若者心理を、「若者30年変化」の調査データと実例から解説。

* 子どものSNS禁止より、大人のX規制が必要な理由／岡嶋 裕史

* 無敵化する若者たち／金間 大介

* アメリカ崩壊の地をゆく／國枝 すみれ

* パレスチナ実験場／アントニー・ローウェンスティン

* 知らなかつたでは済まされない行動経済学の話／真壁 昭夫

* 「心の不調」の脳科学／加藤 忠史 編

* 人生100年時代50歳からの「くらしと税」／嘉悦 健太

* 検視官の現場／山形 真紀

* 「気が利く」とはどういうことか／唐沢 かおり

* コメ関税ゼロで日本農業の夜は明ける／野口 憲一

* 住む権利とマイノリティ／金井 聰 ほか

* 日本漁業の不都合な真実／佐野 雅昭